

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表日		令和2年4月23日	事業所名			放課後等デイサービス カラーズ
評価方法		職員6名が各自評価した上、職員全体で討議し、項目ごとに課題や工夫店について認識合わせを実施。				
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			整理整頓を心がけ、療育スペースを最大限活用できるようにしております。死角を作らないよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			全員が児童指導員以上の有資格者であり、常勤比率が75%以上となっています。心理職員を常時配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			できる限りのバリアフリーに留意しております。1階に数段の階段があるため、スロープ利用できるよう整備します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			朝礼、終礼の他、毎月ミーティング機会を確保し、PDCAサイクルを意識した話し合いをしております。欠席者には議事録や決定事項の共有ができるよう記録物で確認を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			本自己評価のほか、保護者会時のアンケート等により意見を積極的に収集し、改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今回が初めての自己評価であり、今後は都度ホームページ等で随時公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		委託している外部のアドバイザー(作業療法士)に評価結果をふまえた意見を頂くようにしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に法人内研修会を実施しています。社外研修にも積極的に参加しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			指導員がそれぞれにアセスメントを実施した上で指導員と児童発達支援管理責任者が出席する策定会議を実施し、支援計画を策定しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを選定し、今後の活用を検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月2回プログラム策定会議を実施し、指導員全員で活動プログラムを決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月異なるテーマ設定をし、それに沿った活動プログラムを作成しています。また、週ごとにプログラムを変える工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日はロケットタイム、スタータイムを中心に粗大運動、微細活動を実施しています。休日、長期休暇は、上記に加え余暇活動や外出活動、社会参加の促進などを取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ロケットタイム(全身を使った運動プログラム)、スタータイム(生活力向上のための小集団プログラム)を基本に組み合わせながら活動を組み立てています。集団活動の中でも、個に合わせた目標を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼を実施し、支援内容や役割分担を行っています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日終礼を実施し、支援内容やお子さんの様子について振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援計画に沿ったサービス提供が行われているかどうか、保護者にもわかりやすい記述を心がけています。アセスメントできたものを集約し、改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児童発達支援管理責任者による定期的なモニタリングや、相談支援事業所とも連携し、計画の見直しが必要かどうか判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインに沿った支援を実施するよう職員に意識付けしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や心理担当、指導員など相応しい者が出席し、職員間で共有を図っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	一部の学校とは連携会議の実施をできていますが、全ての児童においてはまだ実施できていません。今後も学校との連携は積極的に実施していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	まだ医療的ケアが必要なお子さんの受け入れが発生していません。発生した場合には、連絡・連携を徹底してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	まだ実施できておりません。必要に応じて、受け入れ前後の引継ぎ、情報共有を行ってまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	小学校低学年(1~3年生)のお子さんが多く、移行が発生していません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	必要に応じて連携、助言を頂いております。今後も積極的な連携を図ってまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	地域商店街や高齢者施設との連携を定期的に実施しています。地元祭りの神輿にて通所していない児童との関わりを持つことができました。今後もこういった機会を積極的に増やしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		地域のネットワーク会議に毎回参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の送迎時にお伝えすると共に、相談支援、その他の機会を通じて共通理解を持っていただけるよう努めております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者会で保護者に対する情報提供や保護者同士の話し合いの場を設けるなどしています。また、「食育」テーマでの相談の場を設けるなどしております。今後も積極的に支援をしていきます。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		今後も丁寧な説明を心掛けます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時ご相談に応じると共に、必要に応じて心理士や児童発達支援管理責任者が相談支援を実施しています。

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を年3～4回定期開催し、相互の連携を深めてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情相談窓口を設置し、重要事項説明書にて周知しております。 万が一苦情が発生した際には、迅速・丁寧な対応を行ってまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の活動予定をお知らせしています。また、年間行事予定について周知しています。 今後、HUGを通じてお知らせを参照頂けるようにしていく予定です。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			徹底した管理体制を今後も継続します。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ホワイトボード、視覚補助を活用すると共に、マカトン(言語やコミュニケーションに課題のある子どものための言語指導法)による意思疎通を取り入れるなどしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域行事に積極的に参加し、地域と共に活動する機会を大切にしています。商店街でのハロウィン活動、高齢者施設とのクリスマスイベント、地域お祭りへの出展など多数実施しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定し、周知徹底しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			社内にて虐待委員会を設置し、年2回以上の研修を設けております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			支援計画に記載し、保護者に説明しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示が必要な食物アレルギーは該当がありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			都度ヒヤリハット報告書を作成し、事業所内で共有、重大事故発生予防に努めています。